

# 先週の回答



「お父さんは漢字に強いですか？」  
 「弱い」  
 「尸（し）という字があるのを知ってますか？」  
 「知らない」  
 「ぼくも尸という字は知っていましたが、尸という字があることは知りませんでした」  
 「その字を知らないと生きていけないのか」  
 「そんなことはありませんが、知っておいた方が身のためです」  
 「なぜ？」  
 「尸（または屍）は、しかばねという意味ですが、祭りのときの神の代わりとなる形代（かたしろ…紙の人形）という意味にも使われます」

「だから？」  
 「尸位は、その位を占めているだけで責任を果たさないとということになるんです」  
 「つまり」  
 「才能や働きがないのに高い地位を得ている人のことです」  
 「そんなことを知っているのが何で身のためになるんだ」  
 「さらに、素餐（そさん）は、むなしく食う（徒食）という意味ですから、尸位素餐（しいそさん）は単なる穀潰し（こくつぶし）、米食い虫という意味になります」  
 「……」  
 「たとえば、課長就任のあいさつなどで『このたび課長職を拝命し、身の引き締

まる思いです。今後、尸位素餐の汚名を受けることのないよう頑張る覚悟でおりますのでよろしくお願い申し上げます」というように使ってください」  
 「嫌味か」  
 「とんでもありません」  
 「わしが尸位素餐とかいう人間だから自覚して方が身のためだとも言いいたいのか」  
 「そうなんですか」  
 「わしが実力もないのに課長になったとも言いいたいのか」  
 「そうなんですか」  
 「わしが軽々しい人間に見られているとでも言うのか」  
 「何て呼ばれているんですか、日ごろ」  
 「……カチヨピン」



# 今週の問題



□の中に漢字を埋めて  
四字熟語を完成させてください。